

# 町長の改革日記

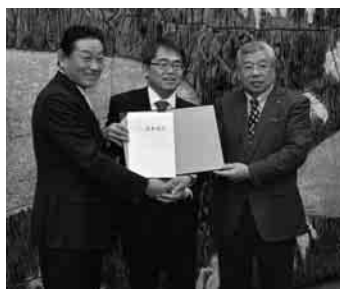


## 信頼関係が生んだ

### 応援協定

2月7日(木)、大治町と東栄町の「災害時における相互応援協定」の締結式を県公館で行いました。

大村知事立会いのもと、私と尾林克時東栄町長と協定書に署名・交換しました。この協定には南海トラフ巨大地震な



●東栄町と「災害時における相互応援協定」を締結

どの大規模災害時に、海拔ゼロメートル地帯にある大治町と山間地域の東栄町が互いに食料、飲料水や生活物資の供給、被災者の救出、施設の応急復旧に必要な資材、救援および救助活動に必要な車両などの提供、応急復旧などに必要な職員の派遣、被災者の一時受け入れに必要な施設の提供などの支援をすることが盛り込まれました。都市部と山間部の町同士が広域避難について連携協力することで、大きな効果や安心感が生まれると期待しています。立会人の大村知事も「県の東と西、三河山間部と都市部の連携は大変すばらしい。」と協定締結に大変喜んでおられました。

このきつかけは、尾林東栄町長が子どもたちに夢を持ってもらいたいという思いから、私に依頼があり、昨年12月に中日ドラゴンズの平田良介選手とコーチ2名を招いて東栄町で開催した少年野球教室(東栄町・設楽町・豊根村の少年野球チームと東栄中・設楽中の野球部員を対象)に参加した際に、「立地条件が異なり、また200名も宿泊できる施設のある東栄町と応援協定を結べれば」と、尾林東栄町長に話したところ、思いは同じであることから意気投合して協定締結となりました。



●中日ドラゴンズ東栄少年野球教室

応援協定だけでなく、国指定の重要無形民俗文化財「花祭」やプロの和太鼓集団「志多ら」、また日本チェンソーアート発祥の地である東栄町との文化交流や子どもたちの交流を行っていきます。

応援協定の締結に先立ち、1月20日(日)に大治町消防団

出初式が大治中学校にて行われました。昨年に引き続き出席していただいた大村知事から、地域防災力は重要で消防団には期待しているとの激励をいただき、訓練に参加した消防団員の士気も高まり、それぞれ心新たに身を引き締めていました。応援協定を結ぶことも大事ですが、まずは、大治町自体の防災力の向上が大切です。消防団、婦人消防クラブ、自主防災組織など、地域の皆さんとしっかりと連携をとって災害に備えていきます。



●消防団出初式

大治町長

岩本好広